

[特集]

知っておきたいデニムエイジング術

デニム

育て方指南

昨今、ますます人気のウエーブが高まっているデニム界隈。とくにコロナ禍が下火になり、海外渡航がふたたび自由になったことから日本のデニムショップに外国からのデニムファンが押し寄せているようだ。そこで今回はデニムの魅力のひとつ“エイジング”にフォーカス。すっかり世界的にも認知されてきている国内ブランドから、名乗りをあげてくれた13社の代表作とそのエイジング指南をご紹介します!

文 / 藤原雅士 写真 / 青木健格 (WPP)



特集

やっぱり 

コロナ禍もひと段落して街に活気が戻ってきた。やはり自分の目で確かめ、専門スタッフとおしゃべりしながらのショッピングは楽しいものだ。そこで今回はL(レザー)、S(シルバー)、D(デニム)を取り扱うショップを取材。イマの旬をとらえた新作から店自慢の定番モデルまで、久々のショップ散策をガイドする。WEBでの買い物では得られない偶然の出会いや、目からウロコの落ちる新発見があなたを待っている!

SHOPで買いモノ楽しいネ!

文/藤原雅士、西牧正晴、本誌編集部 イラストレーション/シャッターストック





これは便利!

アイデア& 機能性盛り レザーギア

革製品といえば、上質な肌ざわりや艶感、また味わい深い経年変化がその魅力といえるだろう。しかし昨今それだけにとどまらない、便利な仕様や快適な使い心地をフィーチャーした製品を見かけることが多くなった。利便性を追求するコンセプトはビジネスバッグや旅行鞆に見られることは多いが、今は財布やスマホケースの革小物にまでその哲学は及んでいる。そこで今回は革のキャンバスに込められた“人智”にフォーカスを当ててみる。

文/山田純貴

ワードローブに変化を!

旬のシルバー アクセを探せ!

1990年代後半から2000年にかけて、男のワードローブに変化をもたせるアイテムとして人気を博したシルバーアクセサリ。当時そのカッコよさに影響を受けた若者たちが、現在は作り手として自身の哲学やこだわりを銀塊に表現しているアイテムが市場をにぎわしている。今回はシルバーアクセの爆発的ブームを当時感じた男たちが、作り手として世に送り出している作品、そのなかでも旬のアイテムを集めてみた。

文 / 藤原雅士、本誌編集部

写真 / 青木健格 (WPP) 撮影協力 / ARIZONA FREEDOM (P59)に掲載